

2020年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議事録

日時：2021年3月5日（金）16時00分～17時00分（Web開催）

出席：小泉、山崎、菅原、奈良、杉山、鎌田、永山、谷田貝、中館（以上理事）、岩井（会計監査）、岩淵、淵上、山口（以上幹事）（敬称略）

司会：永山理事

支部長挨拶：小泉支部長から理事会開催の挨拶

議題1. 2020年度事業報告

議案のとおり承認した。

2) 東北支部気象講演会

- ・参加者が185名と例年に比べ多く、北海道から沖縄まで全国各地から参加いただいた。オンラインの利点を活かした成果と思う。実施形態もアンケート結果から概ね好評だったようである。今後の実施形態は分からないが、今回は当支部にとって一つの大きな経験になったものと思う。

3) 支部研究会

- ・会場参加者を例年と比べ制限し、代わりにオンライン配信を併用するなど、感染症対策を実施することにより、会場にて例年に近い形で開催することができた。
- ・支部研究会ではオンライン配信を併用したことは、遠隔地の支部会員にとって望ましいことと考える。今後も継続願いたい、今年度の実施では音声・画像に難があったとも聞いている。
- ・今回初めての試みであったが、今後に向けて改善していきたい。

5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

- ・これまで効果的な集客・啓発等を考え、様々な場所・形式で実施してきた。
- ・前年度はせんだい環境学習館 たまきさんサロン（仙台市環境局）のサロン講座として実施したが、集客に加えて広報・経費の面でもメリットがあった。今後、継続的にこの形態での実施を検討していた矢先、今年度はコロナ禍により中止となり残念であった。今後のコロナ禍の状況等分からないが、次年度も対面で行うことができるような道を探りたい。

6) 日本気象学会小倉奨励賞の推薦

- ・全国では北陸と九州から1題ずつエントリーがあり、いずれも自薦で学校教育に携わる教員の方と聞いている。東北でもそのような方は居ると思われるので、積極的にエントリーできるような環境づくりに努めたい。

議題2. 2020年度会計報告

議案のとおり承認した。

議題3. 2020年度会計監査報告

議案のとおり承認した。

議題4. 2021年度事業計画案

議案のとおり承認した。

3) 東北支部気象講演会

- ・テーマについてはなるべく早く決めることが望ましい。何か考え等あれば是非提案頂きたい。時期と方法は来年度も悩ましいと思うが、時期は年度の後半が良いと思う。実施形態はできるだけ会場に人が来ていただける形が良いと思うが、オンラインも含めたハイブリット式の開催も検討することになるかと思う。

5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

- ・昨年度の支部交付金の見直しにより予算が実質半分程度となったが、東北支部としてこの取組を継続することは重要と思う。
- ・交付金の見直しはどのような事情によるものであったか改めて確認したい。
- ・支部強化金の財源が尽きてきたことにより、これを廃止し、講演会やサイエンスカフェ等の普及啓発活動への助成を新設したことによるものである※。
- ・繰越金がある時はこれを適宜充当するなど実施し、できるだけ継続すべき。また、この取組を続けたいという希望や、実質的に予算が減額された中で苦勞しつつ継続している状況などについて、適宜本部に伝えていくこととしたい。

6) 日本気象学会小倉奨励賞の推薦

- ・そもそも研究を本務としない環境における方々が対象であり、大学研究者や気象庁職員は対象になりにくい。一方、「初等・中等教育等において優れた気象教育を行っている者」も対象となっているものの、この対象の方々には、このような賞があるということに触れる機会も少ないのではと思われる。また、他薦も可能であるという情報も知られていない感がある。今後、情報公開を進めることにより、多数のエントリが期待できるような環境づくりに努めたい。

※第40期第14回理事会議事録参照

<https://www.metsoc.jp/category/news/board>

議題5. 2021年度予算案

議案のとおり承認した。

議題6. 検討事項

資料に沿って報告が行われた。

議題7. その他

議案のとおり承認した。

以上